クラブ
会報
CLUB BULLETIN
(WEEKLY)

鶴岡ロータリークラブ

TSURUOKA ROTARY CLUB
D-253

創立 S 34. 6. 9
承認 S 34. 6. 27

例会場 鶴岡市馬場町 物産館3階ホール
例会日 毎週火曜日 12:30～13:30
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内
電話 0235 (24) 7711

会長 嶺岸光吉
幹事 佐藤衛
会報委員長 川村徳男
小池繁治
西海正一
佐藤昇

No., 1090 1981. 1. 13 (火) (雪) **No., 28**

ビジター紹介

阿部　隆君 自動車修理―温海R.C
加藤有倫君 清酒製造 斎藤吉雄君 陶管設備―鶴岡西R.C

◆ ゲスト紹介

エテバリ君 米山奨学生

会長報告

嶺岸光吉君

1. 新会員の佐藤陸男君の所属委員会はS.A.Aにお願い致します。
1. 元会員海藤与蔵さんの葬儀が9日、錦町長泉寺に於いて執り行なわれました。私がクラブを代表して参列して参りました。
1. 会員の高橋耕二君がこの度本店営業部長にご栄転になりました。高橋さんは51年10月26日に入会され、会計、情報委員、会報委員、増強委員の各委員会を

担当され、ご奉仕いただきました5年間、本当に有難うございました。尚、後任には村井光弥さんが赴任されます。目下入会の手続きをとっております。

1．　オーストラリアからの交換学生が、18日午前6時5分、成田空港に到着のようです。クラブから高橋良士君、鶴工阿部清三先生の2人が出迎えのため上京されます。18日5時14分鶴岡到着の予定です。都合のよい方は是非お出迎え願います。

幹事報告

佐藤　衛君

1．　会報到着ー東京Ｒ.Ｃ、余目Ｒ.Ｃ

1．　例会時間変更ー酒田東Ｒ.Ｃ

1月22日例会を　ＰＭ6:00 御園旅館に変更、新年会のため。

1．　新会員推せん氏名発表

村井光弥君　山形相互銀行鶴岡支店長

委員会報告

◎親睦活動委員会、社会奉仕委員会

1．　新年たら汁会　1月27日（火）ＰＭ5:30　産業会館5階ホール　会費￥1,000

1．　新年たら汁会を盛り上げるため、又クラブ資金カンパのためにオークションを行なう。

市価￥2,000以上の品物を20日より24日の間に事務局山下君までお届け下さい。

◆ 栄転ご挨拶

高橋耕二君

山形相互銀行本店営業部に転勤。会長より記念品を贈呈

◆ 年男にプレゼント

田中貴金属鶴岡工場長斎藤利雄君より純銀製の鶏のマスコットのプレゼントがなされた。

◆ スピーチ

三年間の留学生活を振り返って

米山奨学生　**エテバリ・エスマイル君**
ETEBARI ESMAEIL

私は日本に滞在して3年になります。そしてこの間、日本での生活で色々な事に出合いました。それらのことの一部をただ今から述べさせていただきます。

私の国「イラン」で色々聞いたり、読んだりした日本という国は、実際に、この目で確めてみると、それはあまりにも違いすぎるというのが私の第一印象

でした。「百聞は一見にしかず」とのことわざ通り、ある事を知るためには自からの目で見、肌で感じるほかは、それを本当に理解することは出来ないのだと、つくづく思いました。日本の国に一歩足を踏み入れた時、いやそれ以前から大きな不安、そして希望が私の胸中には混在していました。そして言葉、生活環境、自然環境の違いからくる、多くの困難にぶつかりながら、日本での生活を始めました。

日本での生活では人々の善意を痛感せずにはおられません。私の留学を心良く受け入れてくださった山形大学農学部農業工学科、そして私をロータリー米山奨学生として受け入れて下さった皆さんには、この場をおかりして特に厚くお礼を申し上げます。

さて私は山形大学で、イランでの仕事と関係の深い農業機械学研究室におせわになりました。と申しますのは私は留学前に国で養蚕の仕事にたずさわり、その機械化に関心を持っていたからです。そして大学での3年間は私にとっては大変満足のいくものだったといえましょう。研究室の研究体制も良く、十分に専門分野を学び研究することが出来ました。私は日本に留学出来たことを幸福に感じています。また同じ研究室に台湾から蔡さんという留学生が来ていたことも何かと心強いものでした。彼に関することや、お世話になっている研究室の先生方の話に関しましては前にもふれましたので今回は省略させていただきます。とにかく見知らぬ国、見知らぬ環境での私の不安も、このような人々の善意と非常に良い研究環境のおかげで、ますます勉学にはげむことが出来、留学の目的も完全に達成することが出来ました。帰国を目前にしてようやくこのことが理解されたことは、私にとって実に幸せな事と考えています。

さて、話は具体的になりますが、私が日本に来て何を見、何を感じ、何を学んだか二、三話してみたいと思います。

日本に留学した最大の目的は養蚕に関する機械化の問題を学ぶためでしたが、その目的はほぼ達成されたと考えています。しかし大学で学んだことは基礎的なことが中心ですので、将来それがどのように役立つかは今のところ判断は出来ませんが、私には満足のいくものでした。それに加えて、留学（異国）に来る今一つの目的は、その国の情緒を理解することと考えています。もちろん世界各国それぞれ良い点、悪い点を持ち合わせています。そしてそれらは、めいめいの国で、異っています。そしてその国のあらゆる点をみて、良い点だけをよりすぐり、自分又は自分の国のために参考にすることも留学の大きな目的の一つでしょう。3年間の日本での生活は見るもの、聞くこと皆めずらしく、私の国とは全く異る雰囲気を持つものでした。私は日本の社会に溶け込み、願わくば、変な日本人というレッテルをはられて帰国したいと思います。おせじではなく、私はある程度日本人的な感情が理解出来るようになったと思います。そしてそれとともに日本人が好きになってきました。オヨメさんは日本の女性をもらいたいぐらいです。じょうだんはさておき、日本は何となくあたたかく、日本人には思いやりがあり、今では日本を第二の故郷としたいとも考え、事情が許されれば何回も訪ねてみたいと思います。

日本の習慣と伝統のすばらしさを私はどこまで理解できたのでしょうか。この国の古い歴史とともに歩んで来た日本人、四季の移り変わりに、はぐくまれる感受性、それらは決して人から聞いたり、本を読んだりするだけでは理解できないことでした。日常生活を通しての大学生や一般市民とのふれあいの中で、

ようやく日本人のおくゆかしさ、わび、さび、そして彼等の胸中に秘められている真意が少しずつわかりかけている今日この頃です。日本人の特徴は、考えている事や、感情をすなおに表面には出しませんが、お互いにはその気持が十分に伝わっているようです。このようなことを我々外国人が理解することは大変困難なことです。それでつい日本人は冷やかな民族だと誤解されるのではないでしょうか。私は外国人留学生だという立場に甘えず、日本人の中に溶け込み共に生活するように努力しました。そのためにはまず日本語を必死に学びました。そして今日ようやく本当の日本を私なりに理解出来るようになったと考えています。

日本人の礼儀正しさは私には非常にきゅうくつに感じられ、義理とか恥についても私達外国人にとっては余り気になるものではありませんが、これらのことが日本の文化、教養に極めて重要な役割を果たしていることが良くわかります。日本が世界に注目されるようになったのも、こうした先人の教えに立脚した伝統が受けつかがれているからでしょう。

春、夏、秋、冬と季節の移り変わりの激しいこの国には自然が生きているように私には思われます。そして自然は人々の心に影響を与え優れた文化を生み出します。何百年もの間このような環境に在った人々を理解するには3年という月日の留学では十分とはいえませんが、限られた時間と条件の中で我々留学生は精一杯日本を学び理解しようとしているのです。

現在の日本の外国化には驚かされます。特にアメリカの真似と感じられる事が多すぎます。つまり日本はアメリカ、ヨーロッパから科学、技術、そして学問を学びましたが、日本に必要でないものも取り入れてしまったわけです。自分さえよければ他人はどうなってもよいという個人主義が、自分の思う通り行動するのが自由主義だという誤った考え方を身につけてしまったものと私には感じられます。

日本は戦後からアメリカや他の国から農産物を輸入し、そして自国の工業製品を輸出するという政策を一貫してとりつづけてきました。この政策は成功し、日本は世界有数の金持ちの国となったのですが、何年後かには工業製品の輸出は減少し、食糧の需要は伸びつづけることになるでしょう。

日本政府は過去20年間とりつづけてきた政策を転換させようとする兆しは全くみあたりません。従来の政策をとりつづけるかぎり、何年後かの日本経済は転落してしまうかも知れません。

私には日本の日常にはぜいたくや無駄が目につきます。例えば電化製品、自動車など、まだまだ使える物であってもすぐあきてしまい捨ててしまいます。このようなことは私には理解できません。この点では私はドイツなど、西欧諸国の合理主義を日本人は学ぶべきだと思います。つまり日本の使い捨て主義はアメリカを中心とする資本主義の高度経済成長の結果生ずる弊害であると私は思うからです。

日本で比較的多い鉱物資源は石炭、石灰石、硫黄、亜鉛、タングステン、銅、水銀でしょうが、私からみれば一番大事なものは豊富な水資源です。降雨量の多さ、それを有効に利用させる山地、森、林、特に森林の面積は国土の70%にも及んでいることです。そして、この山地と森林をぬって流れる川、これらが実に美しい風景を形づくっています。日本は北半球の温帯部分に位置し、前にもふれましたが、四季は規則正しく訪れ、四季折々の花が咲き乱れ、人々は季

節に対応して衣服をとりかえます。このような明白な四季のめぐりは人々の生活にリズムを与え情緒の豊かな人間を作っていきます。日本の方々はこれらの豊かな恵みの真の意味をあまり気づかずにいるのかも知れません。そして日本の方々は私に会うと「あなたの国はいいですね、いいですね」といいます。何がいいのですかとたずねると答は石油です。しかしイランの砂漠地帯は1,500mの山地があったり、しかもその土壌は塩分を多く含んでいます。したがって数千マイルに及ぶこの砂漠は岩石が粘土の間に点在するだけで不毛の地です。このような広大な砂漠を日本のように豊な国土に変えるには石油はあまりにも無力です。それでも現在は石油が産出するのでイランも何とかやっています。しかし石油がなくなった時（20〜25年ぐらいでほとんど堀りつくすといわれていますが）現在のままではイランは大変なことになってしまいます。私は逆に日本はいいですね、いいですねといいたいと思います。そして日本の人々は水という無限の資源を与えて下さった神に感謝すべきではないでしょうか。

まとまりのない事を述べさせて頂きましたが、どうぞ私の気持をお汲みとり下さいますようお願いいたします。言葉の足りないところは外国人ということで御容謝いただきたいと思います。それではこれで私の話しをおわらせていただきます。有難うございました。

乱筆、乱文ですが外国人という事で許していただきたいと思います。また、3年の間いろいろの人達の善意に囲まれて生活してきました。ここに記し、感謝の意を表してペンを置かせていただきます。

◆ 年男スピーチ　　中江　亮君

酉歳は天下に波乱を巻き起こし革命を招くと新聞に書いてあったのを読んで驚きましたが、当クラブの会員で酉歳生れの方が8名程居られるようですが、そんな物騒な方は見当らないようであります。然し良い意味に於ける変革はむしろ大いに歓迎したいものであります。

戸川幸夫さんのお話に依りますと野鶏は産卵の時期と箇数が一定していますが、その卵が盗まれたり、こわされたりすると補充卵をする習性があるそうです。人間がニワトリを飼って次々に卵を産ませるのもこの習性を利用したそうです。因みに一羽のニワトリの年間産卵数の記録が365箇と言うそうです。

新年早々いろいろな種類の鶏を集めてノド自慢をさせているニュースを聴きましたが、同じ鶏でも私は音痴の方でありますので縁がないようです。十二支の中2本足の動物は酉だけのような気がしますが、正しいとすればかなり進化した方ではないかと考えて見たくなります。

とにかく私は今年一年は野鶏のように羽ばたかず、2本足をしっかり地につけてその高い生産性にあやかりたいと考え、大いに自重する積りであります。

◆ 庄内空港建設促進同盟会設立総会に出席して　　中江　亮君

この1月6日に余目公民館で開催されたのですが、私は嶺岸会長の代理で出席して参りました。庄内各市町村、商工会議所、経済団体、農漁業関係団体、その他各種団体の長等約150名位が出席されて設立総会が開かれたのですが、主旨は、今のような高速交通時代に庄内には新幹線も空港もないため文化・経

済の発展が著しく立ち遅れているため一日でも早く空港を建設して大都市圏と人的・物的流通を盛んにしなくては庄内の繁栄はあり得ない。このために庄内の総力を結集して昭和61年から始まる空港整備第5次計画に庄内空港建設を組み入れてもらいたいと言うことでありました。

総会は型通りに行われ役員も選出されましたが、来賓の代議士諸先生が党派を超えて地域住民の利益のために全力を尽すと祝辞を述べられましたが、就中加藤紘一代議士が建設資金について赤川ダムでは800億もかけたのに庄内空港の資金程度の金は必ず責任を以て獲得すると力強い発言をされて注目を浴びました。

最後に記念講演をされた福井医科大学の今野修平教授は、かつて運輸省の航空局の方で現在運輸政策審議会委員を兼ねて居られる専門家でありまして、明治時代に遡って鉄道の誘致に成功した地域は都市化発展に成功したが、反対に失敗した地域は約一世紀に亘って衰微を続け、更に昭和39年から始まった新幹線、Z航空機、自動車高速道路の導入に依り、交通は高速化時代に入り、地域発展の格差がますます顕著になったが、今日では全国で10万都市であり乍ら新幹線、高速自動車道路、空港から1時間以内の距離にないのはこの庄内の2市だけで、これを考えても庄内が如何に不利であるかが判るようであります。

更に第1種空港、2種空港を沢山建設している九州の発展振りについて詳しく説明され、同じように沖縄周辺が空港から受ける経済の著しい生長を具体的に例証されて、とにもかくにも庄内空港を実現させるため地域が総力を結集して頑張ってほしいと結ばれましたが、さて順調に進んだとしても約10年はかかるそうであります。夢が早く現実になることを願って報告と致します。

出席報告

本日の出席	会員数	71名	欠席者	池田(昭)君、藤川君、中村(真)君、石井君、板垣(広)君、風間君、金沢君、黒谷君、小松君、諸橋君、中野君、中村(富)君、西海君、野村君、斎藤(得)君、佐藤(友)君、玉城君、富樫君
	出席数	53名		
	出席率	74.65%		

前回の出席	前回出席率	88.73%	メークアップ	佐藤(友)君、黒谷君、板垣(俊)君 ―鶴岡西R.C
	修正出席数	66名		
	確定出席率	92.96%		